

23年度の事業計画、予算案など原案通り可決

府国保連合会通常総会



本会通常総会は、3月16日(水)、府国保連合会に37保険者の代表が出席して開かれ、平成23年度の事業計画案、一般会計ならびに各特別会計予算案などの議案を原案通り可決した。

総会では、栗山正・理事長(亀岡市長)の挨拶に続いて、山田啓二京都府知事の祝辞(山口高齢社会対策監代読)が披露された。また、国保事業の発展にご尽力いただいた方々に理事長表彰(被表彰者名は総会記事のあとに掲載)が行われ、被表彰者の代表6人が紹介された。



議長に石井明三京田辺市長、議事録署名人に佐々木稔納南丹市長と松田等京都府建設業職別連合国民健康保険組合理事長の2人を選任して議案審議を行った。

議案は、平成22年度の報告承認事項6件、同年度報告事項2件、23年度の議決事項13件、同年度報告事項2件の計23件。



新年度の事業計画では、現行事業を継承し、推進するとともに、平成23年5月稼働予定の全国統一「国保総合システム(国保中央会開発)」の円滑な導入を図り、新規事業として「国保総合システム」の保険者レセプト管理機能を利用した「保険者レセプト二次点検」を受託し、保険者の事務軽減並びに医療費適正化の一環として積極的に取り組むとした。

